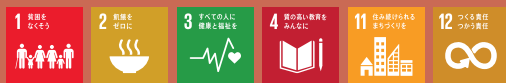


社会と共生したまちづくり

地域社会と共生するハード・ソフト両面による
安全・安心なまちづくり



基本的な考え方・方針

まちは人口構成やライフスタイルなど時代とともに変遷し、求められる機能も常に変化していきます。大手町・丸の内・有楽町エリアも、商業施設が集積し機能が多様化するにつれ、来街者も多様になりました。それを支えるのは「安全・安心」なまちづくりです。三菱地所グループ基本使命(P2参照)のもと、人々が安全・安心に住み・働き・憩い、子育てがしやすく、高齢者も生活しやすい社会と共生したハード・ソフト両面によるまちづくりを進めます。三菱地所(株)では関東大震災以来培ってきた災害対策のノウハウを「災害対策要綱」としてまとめ、平常時からの予防措置から復旧対策まで広範できめ細かな対策を定め、各エリアの災害復旧対応の指針として活用しています。

目標

- 防災やバリアフリーに配慮し、人々が安全・安心に住み・働き・憩うまちづくりに取り組みます。
- 子育てがしやすく、高齢者も生活しやすいまちづくりに取り組みます。
- 主な事業に関わる地域コミュニティと対話し、事業活動による人権・環境などへの影響を理解し適切に対応します。

マネジメント体制

三菱地所グループは、まちづくりに関わるさまざまな事業グループの部署・グループ会社において、社会と共生し、課題解決につながる取り組みを事業に組み込むため、地域コミュニティやさまざまなステークホルダーと対話しています。大手町・丸の内・有楽町地区では、一般社団法人大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり協議会とも連携し、地域の活性化や地球規模の環境問題等、都市として対応すべき諸課題へ積極的に取り組んでいます。CSR全般に関する審議を行う「CSR委員会」「環境・CSR協議会」をそれぞれ年2回開催し、各組織の社会と共生したまちづくりへの取り組み状況などについて討議、情報共有しています。

人々が安全・安心に住み・働き・憩うまちづくり

習志野市「奏の杜」エリアにおける 大規模防災訓練



三菱地所コミュニティ(株)と三菱地所レジデンス(株)は、東日本大震災の発生から7年を迎える2018年3月11日に、千葉県習志野市の「奏の杜(かなでのもり)」で、過去最大規模となる防災訓練を実施しました。

「奏の杜」エリアでは、2015年3月より防災訓練をサポートしていますが、街全体で助け合うことを目指し、周辺のマンションに声をかけていくことでエリアの広がりや参加者の増加につながっています。今回の防災訓練は、三菱地所レジデンスが分譲した4つのマンションの管理組合と町内会と協働し「奏の杜」エリアにお住まいの約1,000名の住民が参加しました。訓練では、はしご車による救出や水消火器・被

災生活を想定したマンホールトイレ組み立て訓練などが行われました。併せて、東日本大震災の語り部として活動されている山田葉子氏と、一般社団法人復興応援団の佐野哲史氏による講演会も開かれました。

今後も、災害に対して「自ら備える」土壌づくりと、互いに助け合う「共助」の体制構築を街全体に広げることを目指して活動を継続していきます。



当日の訓練の様子(はしご車による救出訓練)

KPIの実績

- 災害時医療連携、防災隣組を通じた災害対策の深化



- 行政との帰宅困難者受入協定締結施設※1、津波避難ビル協定締結施設数※2

20ヶ所 ※1東京都内にて18施設 ※2大阪市内にて2施設



直下型地震情報伝達ネットワークの構築 KPI 1

三菱地所(株)は、首都直下型地震発生時におけるエレベーターの安全停止と閉じ込め事故の防止を目的に、総合デベロッパーとしては日本初となる独自の直下型地震情報伝達ネットワークを構築しました。

このシステムは、(株)ミエルカ防災が開発した地震計「ユ

レーマス」を三菱地所グループに関連する首都圏7施設に設置し、各施設で測定された地震のP波情報を丸の内地区にある高層ビルへいち早く伝達。このP波情報をもとに実際の振動が到達する時間と地震の大きさを計算します。これらの地震情報は、新丸ビルをはじめとした丸の内エリア4棟の高層ビルでエレベーターの制御に活用され、大きな揺れに備えてエレベーターを非常停止させるなど安全対策に役立てられます。

「ユレーマス」導入施設と地震情報伝達対象



「ユレーマス」導入施設一覧

- A: 新丸ビル
- B: サンシャイン60(東京都豊島区)
- C: 東久留米ショッピングセンター クルネ(東京都久留米市)
- D: 横浜ランドマークタワー(神奈川県横浜市)
- E: 酒々井プレミアム・アウトレット(千葉県印旛郡)
- F: 佐野プレミアム・アウトレット(栃木県佐野市)
- G: 御殿場プレミアム・アウトレット(静岡県御殿場市)

丸の内の地震情報伝達対象ビル

- (全て東京都千代田区)
- 新丸ビル
 - 丸ビル
 - 丸の内北口ビル
 - 丸の内パークビル

(注)掲載断層情報は中央防災会議「首都直下地震の被害想定と対策について」(別添資料4) P7「地震の発生場所が想定される地震」より抜粋

親子で考える防災ツール「そなえるドリル」の開発 KPI 1

三菱地所レジデンス(株)は、管理会社の三菱地所コミュニティ(株)と協働し、マンションの防災活動(防災計画策定・防災訓練実施)を継続的にサポートしています。

その一環として、親子で考える防災ツール「そなえるドリル」を開発し、2017年9月に「ザ・パークハウス防災プログラム」ホームページ上で一般公開しました。「そなえるドリル」は、子どもを入口に「対話」のきっかけをつくり、家族の防災計画書ができるツールです。近年大きな自然災害が頻発していることを背景に、大人だけでなく子どもにも防災を身近な事柄として考え、行動につなげてもらうことを目指し

た。今後は、マンションの防災訓練や小学生向け防災ワークショップなどで活用していきます。



新しく開発した防災ツール「そなえるドリル」
2018年第12回キッズデザイン賞「子どもたちの創造性と未来を拓くデザイン部門」を受賞
2018年度グッドデザイン賞受賞

救命救急講習受講率(三菱地所グループ※3) KPI 3

62%(2030年度継続目標100%)

※3 三菱地所、三菱地所プロパティマネジメント、三菱地所リテールマネジメントの3社

Webサイトに詳細情報を掲載しています。

<http://www.mec.co.jp/j/csr/philanthropy/index.html>

子育てがしやすく、高齢者も生活しやすいまちづくり

保育所付ワーキングスペース 「コトフィス～こどもとはたらくオフィス～」開業

待機児童問題が深刻化する中、育休延長や離職による人財不足・損失を防ぐため、企業にとって社員の子育て支援は喫緊の課題となっています。こうした社会情勢を受けて、三菱地所プロパティマネジメント(株)は2018年4月、保育所付ワーキングスペース「コトフィス～こどもとはたらくオフィス～」を開業しました。ワークスペースに隣接する保育スペースでは認可保育所並みの設備と実績のある保育士による安心安全な保育サービスを提供します。



保育スペース

働き方改革と健康経営の ソリューションサービス「クルソグ」

丸の内エリア就業者のWell-Beingを支援する「クルソグ」は、「働き方改革と健康経営」の実現に取り組む総務・人事などの企業・団体の担当者、または働く個人一人ひとりを、「ICT × 街 × オフィス」でサポートするサービスです。

スタートから1年が経過し、2018年度からは特に「健康」にフォーカスし、エリアの就業者や来街者が楽しめる参加型のイベント企画や情報提供などさまざまなコンテンツとサービスづくりを進めています。



認知症サポーター養成出張出前講座で サポーター育成の取り組みを開始

社会全体の問題として認識されている少子高齢化は、マンションという一つのコミュニティの中でも深刻な問題として顕在化しています。三菱地所コミュニティ(株)では管理を受託する担当物件の管理員全員を対象に、認知症に関する研修を実施していますが、マンション居住者内の認知症の方々のトラブルが年々増加し、今後管理員だけでは適時適切に対応できないケースが想定されます。同社では管理業務を受託する大阪市内の物件において、当該物件管理員の「マンションの高齢化問題を提起したい」との思いから、2018年1月にマンション居住者を対象に、同社内の認知症サポーターキャラバン(厚生労働省所管)登録社員を講師として派遣し、「認知症サポーター養成講座」を実施しました。本講座は居住者に対して認知症に関する基礎知識や認知症患者への対応方法を教示し、認知症に対する意識啓発をするとともに、大規模災害時の「自助共助」を促進する第一歩として本格的に開始しました。

本取り組みは当社グループのCSR重要テーマである“ひとづくり”をグループ社内だけでなく、町会等の地域社会と連携して社会問題解決に寄与する施策として、将来的に他地域展開を目指します。



認知症サポーター養成講座

KPIの実績

■ バリアフリー法認定建物件数

13件

KPI

4

■ まちづくり団体主催セミナー、イベント等参加者数

18,356人/年

KPI

5

地域コミュニティとともに

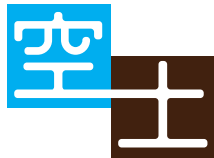
都市と農山村をつなぐ 「空と土プロジェクト」

KPI
6

新たな2つのCSR活動を開始

三菱地所グループは、山梨県北杜市のNPO法人「えがおつなぐ」と連携し、「都市と農山村がお互いに元気になる社会」を目指して支え合う「空と土プロジェクト」を推進しています。

2017年度は、プロジェクト設立10周年を記念して北杜市の耕作放棄地を開墾し、再生した棚田で育てられた酒米のうち、純米酒の原料として基準を満たさない酒米を有効活用した「純米焼酎『大手町』」を地元の酒蔵と東京農業大学で開発した天然酵母（花酵母）を使用し、共同開発しました。また、北杜市内の管理が行き届いていない山林を再生し、三菱地所グループへの木材供給および社員研修の場として利用する「三菱地所グループの森」の構築を目指す活動もスタートさせました。



都市と農山村をつなぐ
空と土プロジェクト



純米焼酎「大手町」



森林での活動風景

社会貢献活動

社会貢献活動基本方針とプロセス

三菱地所グループでは、2008年4月に「三菱地所グループ社会貢献活動基本方針」を策定しました。活動の実践にあたっては、各グループ会社において基本方針に沿って実施しています。

三菱地所グループ社会貢献活動基本方針

- 1. 社会的課題の解決と自らの成長**
良き企業市民として社会的課題の解決を目指し、活動を通して自らも成長をはかります。
- 2. 三菱地所グループらしい活動の展開**
事業領域の内外において、経営資源を生かした、三菱地所グループらしい特色ある社会貢献活動を展開します。
- 3. 社会との連携**
対等、信頼、対話を基本として、さまざまな団体と連携して、透明でフェアな活動に努めます。
- 4. 重点分野**
「地域社会との共生」「文化・芸術支援」「環境保全」「社会福祉」を重点分野として取り組みます。

第16回キラキラッとアートコンクール開催

三菱地所(株)では、障がいのある子どもたちの可能性を応援したいとの思いから、「キラキラッとアートコンクール」を2002年より毎年開催しています。第16回となる2017年度は、1,512点の応募があり、応募作品の全てを専用Webサイトで公開しています。2018年2月16日には、丸ビルホールで優秀賞受賞者の表彰式を開催しました。

障がいのある子どもたちに生演奏を届ける 「三菱地所のShall We コンサート」

三菱地所(株)は、生の音楽に触れる機会が少ない特別支援学校の生徒を対象とした「三菱地所のShall We コンサート」を実施しています。1996年の開始以来、延べ81回開催し、延べ1万人以上の生徒に生の音楽をお届けしています。今回、公益社団法人企業メセナ協議会が主催する「メセナアワード2017」において、最も優れた活動に贈られるメセナ大賞を受賞しました。

■ 空と土プロジェクト参加者数
単年370人 累計2,324人

KPI
6

■ 三菱一号館美術館入館者数
367,679人(2017年度)

KPI
7

■ Webサイトに詳細情報を掲載しています。

<http://www.mec.co.jp/j/csr/philanthropy/index.html>

お客さまとのコミュニケーション

住まいの品質を創造する「5つのアイズ」

三菱地所レジデンス(株)は、全てのお客さまに、いつまでも変わらない喜びを感じていただけるよう、さまざまな視点から住まいの品質を追求する「5つのアイズ」による品質管理を行っています。5つのアイズは、「CHECK EYE'S(チェックア

イズ)」「ECO EYE'S(エコアイズ)」「CUSTOM EYE'S(カスタムアイズ)」「LIFE EYE'S(ライフアイズ)」「COMMUNITY EYE'S(コミュニティアイズ)」という異なる5つの視点で構成されています。



CHECK EYE'S

確かな建物品質へのこだわり。

設計段階から施工・完成時に至るまで、住宅性能表示制度に定められた項目に加え、三菱地所レジデンス独自の基準を用いて品質チェックを行います。さらにこれらのプロセスに関する情報をお客さまに開示します。



ECO EYE'S

環境に配慮した、経済的で快適な暮らしへのこだわり。

住む方に大きな負担を強いることなく、住んでいるだけでエコにつながる。そんな地球環境にも住む方にもやさしい住まいを理想として、マンションづくりを行っています。



CUSTOM EYE'S

自分だけの住空間をつくる楽しみへのこだわり。

選ぶ楽しみ、つくる楽しみをもっと感じていただくために、自分だけの住空間をつくる楽しみをより広げるため、ご契約後からお引き渡しまで住まいづくりをお手伝いします。



LIFE EYE'S

お客さまの暮らしを守る、安心・安全へのこだわり。

お客さまに安心・安全にお住まいいただくための防犯対策を行うとともに、もしものときの実効性にこだわった災害対策を行っています。



COMMUNITY EYE'S

生涯にわたる、豊かで上質な暮らしへのこだわり。

お客さまがマンションに住み始めてからも長年にわたり絆を育んでいきたいと考えています。お客さまと顔が見える関係を築き、いつまでも安心して暮らしていただくために、細部にわたりマンションライフを支えていきます。

リフォームなしで間取りが変えられる住まいの提案

三菱地所レジデンス(株)が供給する「ザ・パークハウス 東陽町レジデンス」は、これまでの分譲マンションのあり方を見直し、お客さまが求める間取りや住まいを追求したマンションです。「変化する住まい」をコンセプトに、リビング空間を仕切る備え付けの可動家具は「高さ、色、デザイン」を選ぶことができ、設置位置も入居されるお客さまのライフスタイルに合わせて決めるなど、リフォームなしで間取りを変えられるプランを提案しています。



ザ・パークハウス 東陽町レジデンス

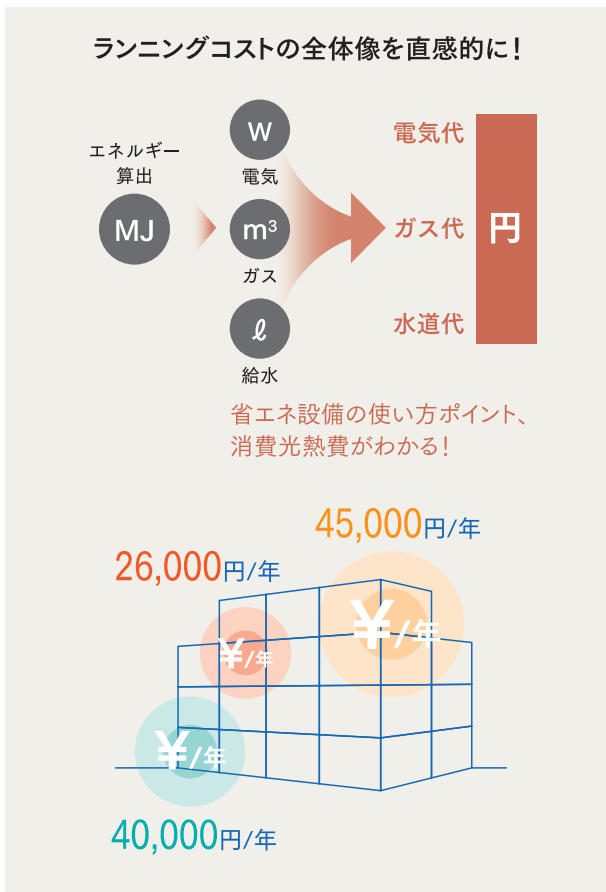
マンション家計簿

三菱地所レジデンス(株)と(株)メックecoライフは、ザ・パークハウスのご購入を検討されているお客さまに向けて「マンション家計簿」を配布しています。マンション家計簿は、冷暖房費を「いへの燃費」、冷暖房費以外の水道光熱費を「くらしの燃費」、マンション固有の維持費を「その他の費用」として表示し、入居後のマンション生活に必要なランニングコストの全体像が見える化したものです。



こうした取り組みは業界でも初めてであり、お客さまの環境意識の喚起やマンション選びの新基準の創出につながる試みとして評価され、2015年度にグッドデザイン・ベスト100に選出されるとともに、地球温暖化防止活動環境大臣賞も受賞しています。

一世帯当たりの年間水道光熱費イメージ



地域の方と交流するイベントを開催

生産者とのコミュニケーションを深める「丸の内グラムマルシェ」

三菱地所(株)は「食育丸の内」プロジェクトの一環として、毎年丸ビル1階マルキューブで「量り売り」をテーマとしたイベント「丸の内グラムマルシェ」を開催しています。日本全国から生産者の方々をお迎えし、「旬」の食材をラインナップ。欲しい食材を無駄なく必要な分だけ購入でき、売り手と買い手がコミュニケーションを楽しめるのが特徴のマルシェです。

2017年度は「fresh challenge—あたらしい試み」をテーマに、作物本来の美味しさを追求するとともに、安全性の高い商品を消費者に届けるためのネットワークづくりやコミュニケーションに取り組む若手生産者を中心とした12店舗が参加しました。



丸の内グラムマルシェ

大手町・丸の内・有楽町 夏祭り

三菱地所(株)が会長会社を務める一般社団法人大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり協議会では、丸の内エリアの夏の風物詩となっている「大手町・丸の内・有楽町 夏祭り」を毎年開催しています。この祭りで実施される「丸の内 de 打ち水」は、日本の伝統的な生活の知恵である「打ち水」でヒートアイランド現象の緩和をめざしたイベントです。打ち水にはビルの排水を浄化した中水を使用しています。

このイベントを通じて、来場者や就業者の皆さまに環境意識を高めてもらうとともに、企業間交流の場を提供しています。



丸の内会場の打ち水の様子